

# 新聞番會

第十五号



繩くわニ報知新聞ニ出でる浪花新卑しんひ橋ばしの  
東西とうざいを以もつて下さり、僧そう小こ僧そうをなぶらう——金かな旗はた  
取りとり一いつ宮みや負おさんさん化かすする賊ぬきハ元もとハ士族しふくとう  
讚たん及およ香川郡東濱村横田門八郎よこたと云い者もの  
ふて又また五月ご七しち日にち諸しょ勢せい謀ぼう牧まき山さん直正じゆと称めいへ  
沼ぬま田た村むらの農う某めいを威おど——金かな六ろく四よ余よを敗ひき取とり

同どう十四じゅうよ日にち己ご

上う村むら左さ膳ぜんと

偽うそ名なとうそて

南みなみ宝ほう寺てら町まち

坂さか上う某めいとう仕し

捨す吉きちとう歎かん五ご祐ゆ七しち

円えんと掠くつく阿あ漕漕がが

浦うらとうらぬぬどど慶けい重じゆう

ちれれババ化的せきの皮か見み顯あらわ

ひくひくきて縛くははとと

かる有あ難むずき文ふ化かの

御ご代だい生うれ志し學がく乃の。

○年とよ有あむづら如ご斯しの惡事おぞな  
をちち天てん何なぞぞ之をゆゆる可か能のう可か戒げ

新しん編べん修しゆ正せい

八尾やお喜き板いた

平ひら三さん

